

7.1.6 景観

1) 囲繞景観

評価図書のための調査の平成 17 年度と工事前調査の平成 28 年度に G、H 及び N-1 地区に囲繞景観の変化を調査した結果では、植生の生長が見られた程度の僅かな変化であった。平成 30 年度からは着陸帯等の存在・供用時の事後調査として実施しており、工事前との比較には平成 28 年度の結果を用いた。

G、H 及び N-1 地区の工事前調査(平成 28 年度)、着陸帯等の存在・供用時 1 年目(平成 29 年度冬季)と存在・供用時 2 年目(平成 30 年度冬季)、存在・供用時 3 年目(令和元年度冬季)における眺めの状況を図 7.1.6-1～図 7.1.6-12 に示した。

G、H、N-1 地区の囲繞景観を工事前調査の結果比較すると、本事業実施区域である着陸帯及び G 進入路の囲繞景観は、イタジイ-リュウキュウチク景観区から裸地路傍草地景観区へと変化していた。そのほか、工事用道路の囲繞景観は、既存道路景観区やイタジイ-リュウキュウチク景観区から裸地路傍草地景観区に変化していた。また、既存道路の囲繞景観は、林道景観区から裸地路傍草地景観区へと変化していた。一方、平成 30 年度調査の結果と比較すると、既存道路の囲繞景観は、別事業による沿道の伐採に伴い林道景観区から裸地路傍草地景観区へと変化していた。その他の地区では、囲繞景観の変化は見られず、概ね安定していた。なお、H 地区については、既存道路上で工事による改変を受けておらず囲繞景観が安定していたことから、春季を以って本事後調査を終了した。

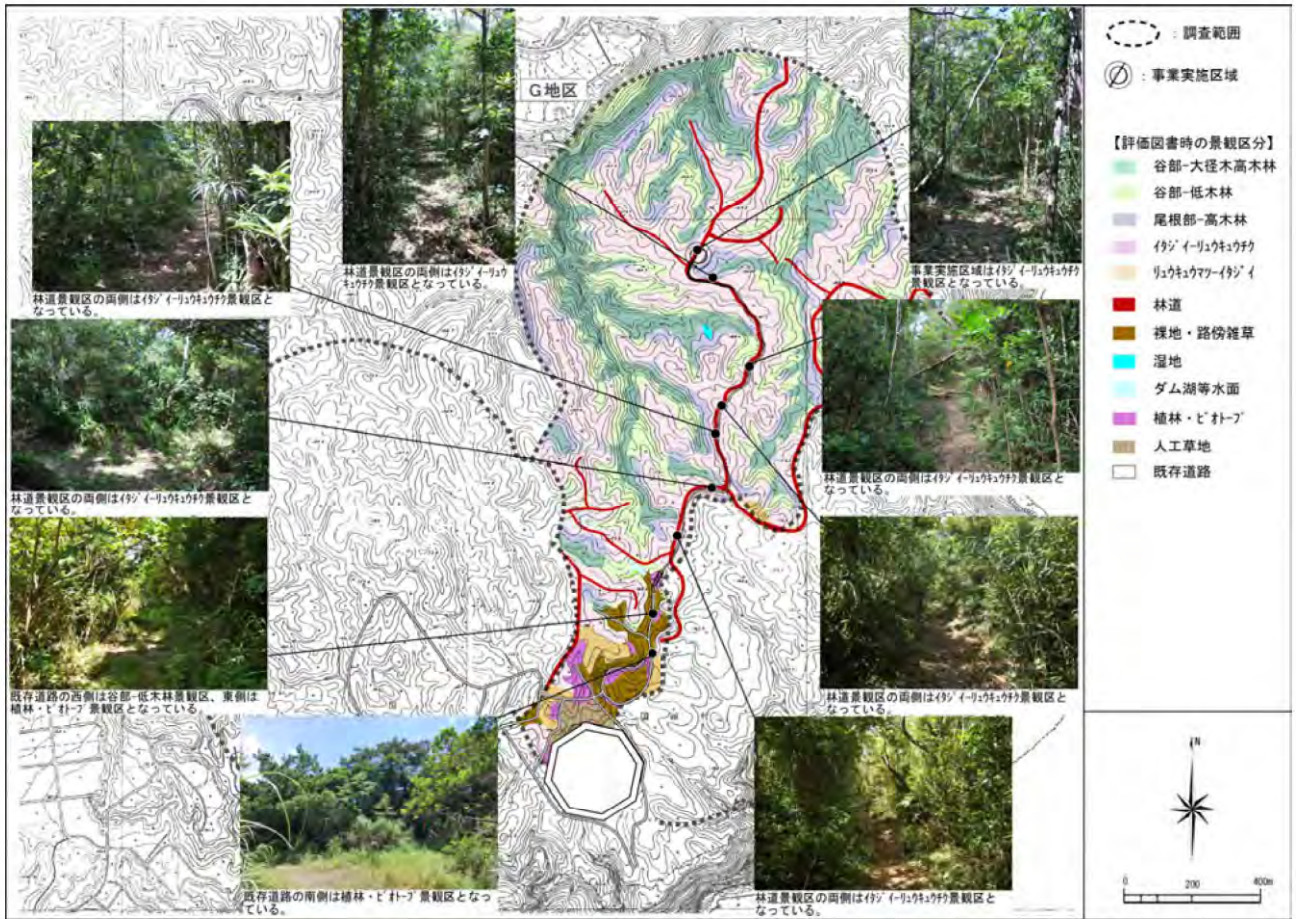


図 7.1.6-1 G 地区における眺めの状況（平成 28 年）

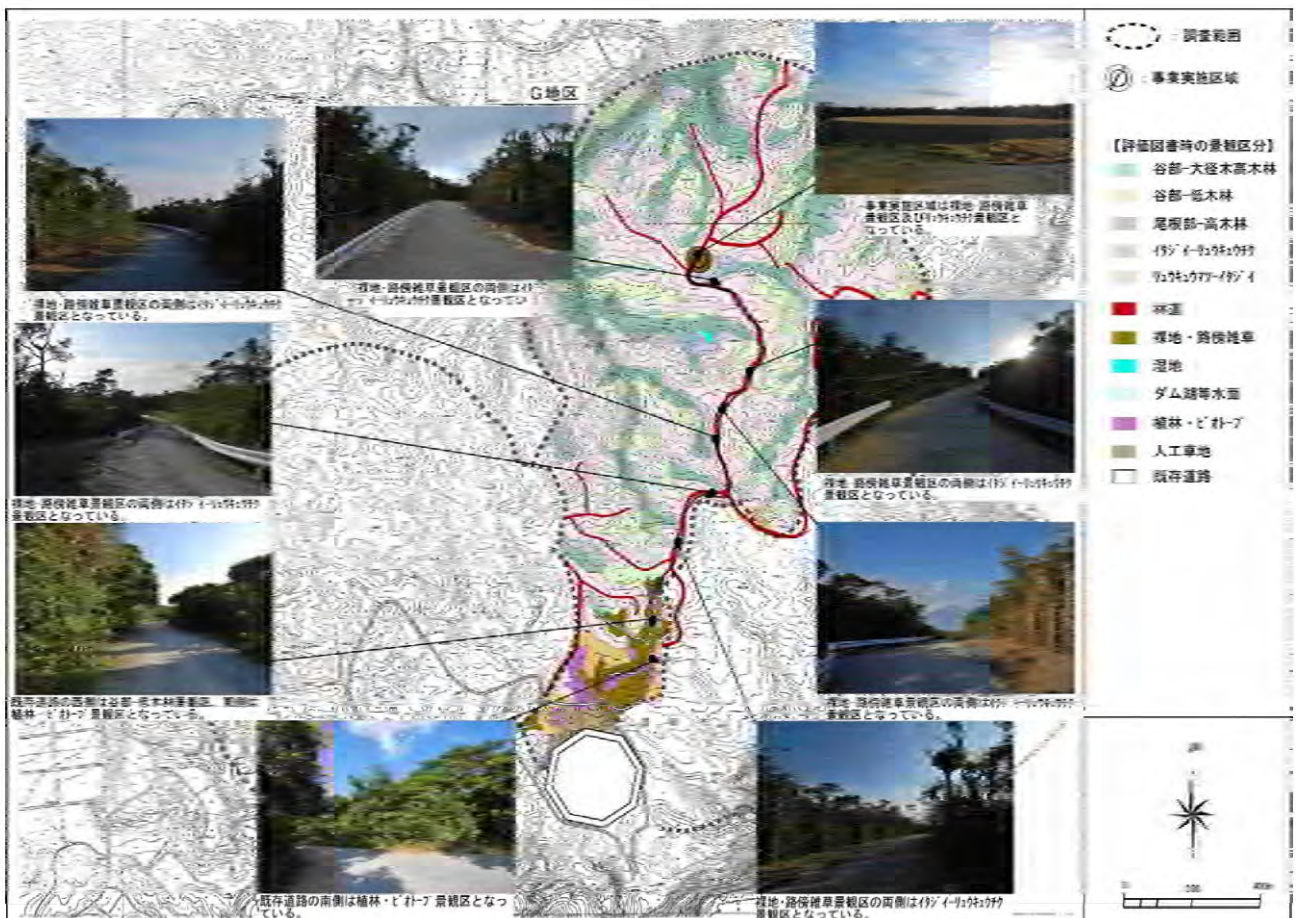


図 7.1.6-2 G 地区における眺めの状況（平成 29 年度：冬季）

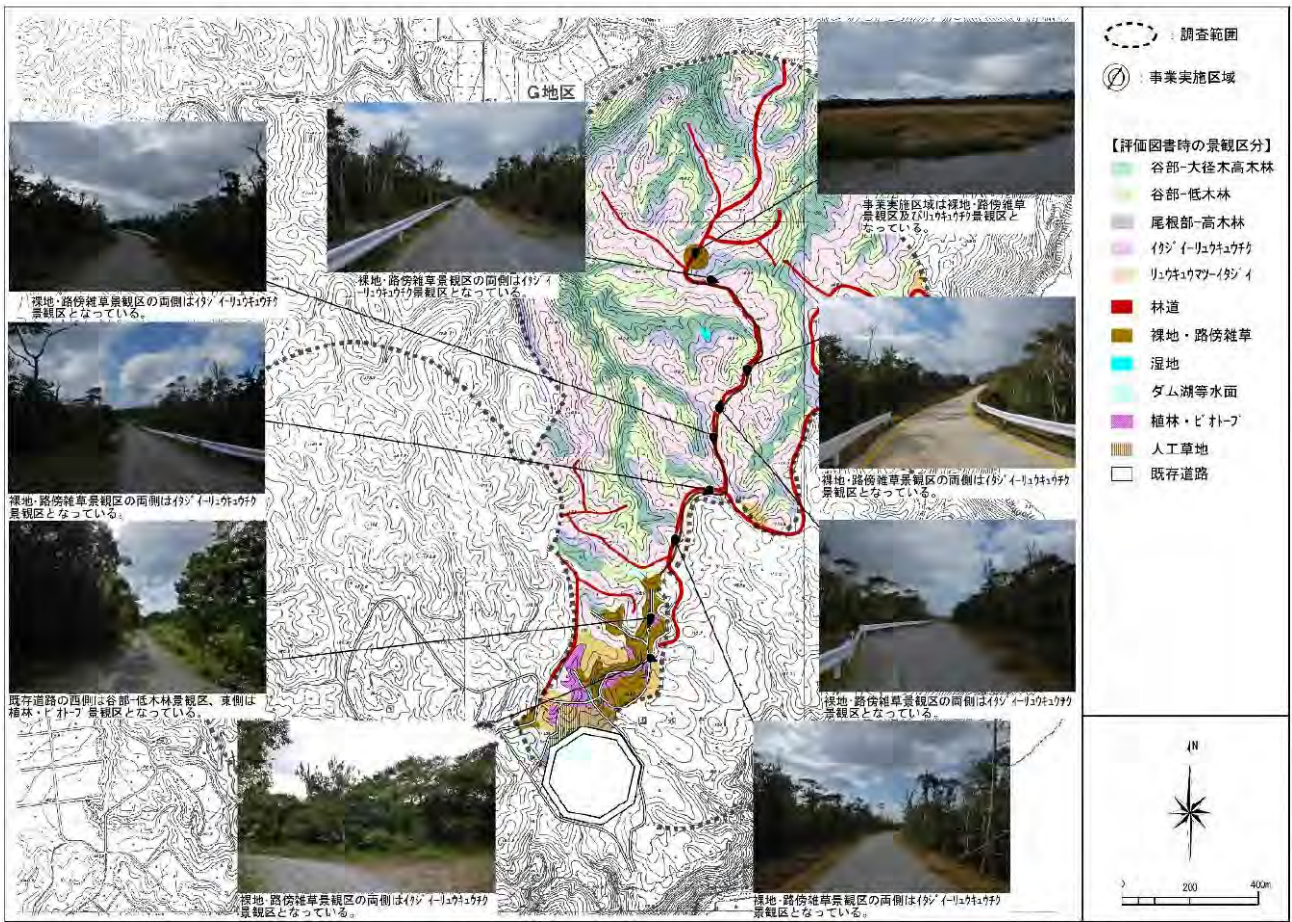


図 7.1.6-3 G 地区における眺めの状況 (平成 30 年度 : 冬季)

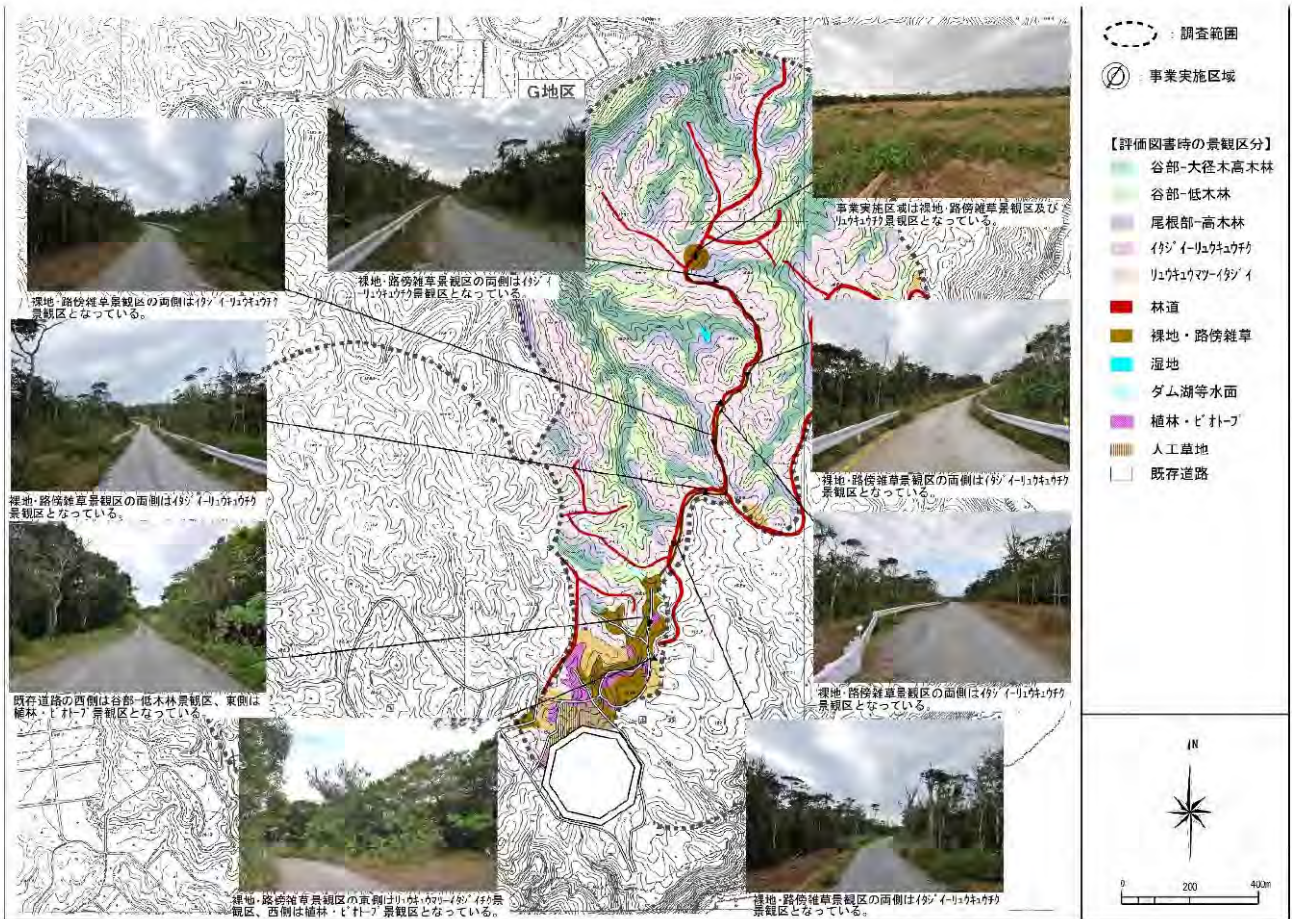


図 7.1.6-4 G 地区における眺めの状況 (令和元年度 : 冬季)



図 7.1.6-5 H地区における眺めの状況（平成 28 年）



図 7.1.6-6 H地区における眺めの状況（平成 29 年度：冬季）



図 7.1.6-7 H 地区における眺めの状況 (平成 30 年度: 冬季)



図 7.1.6-8 H 地区における眺めの状況 (令和元年度: 春季)

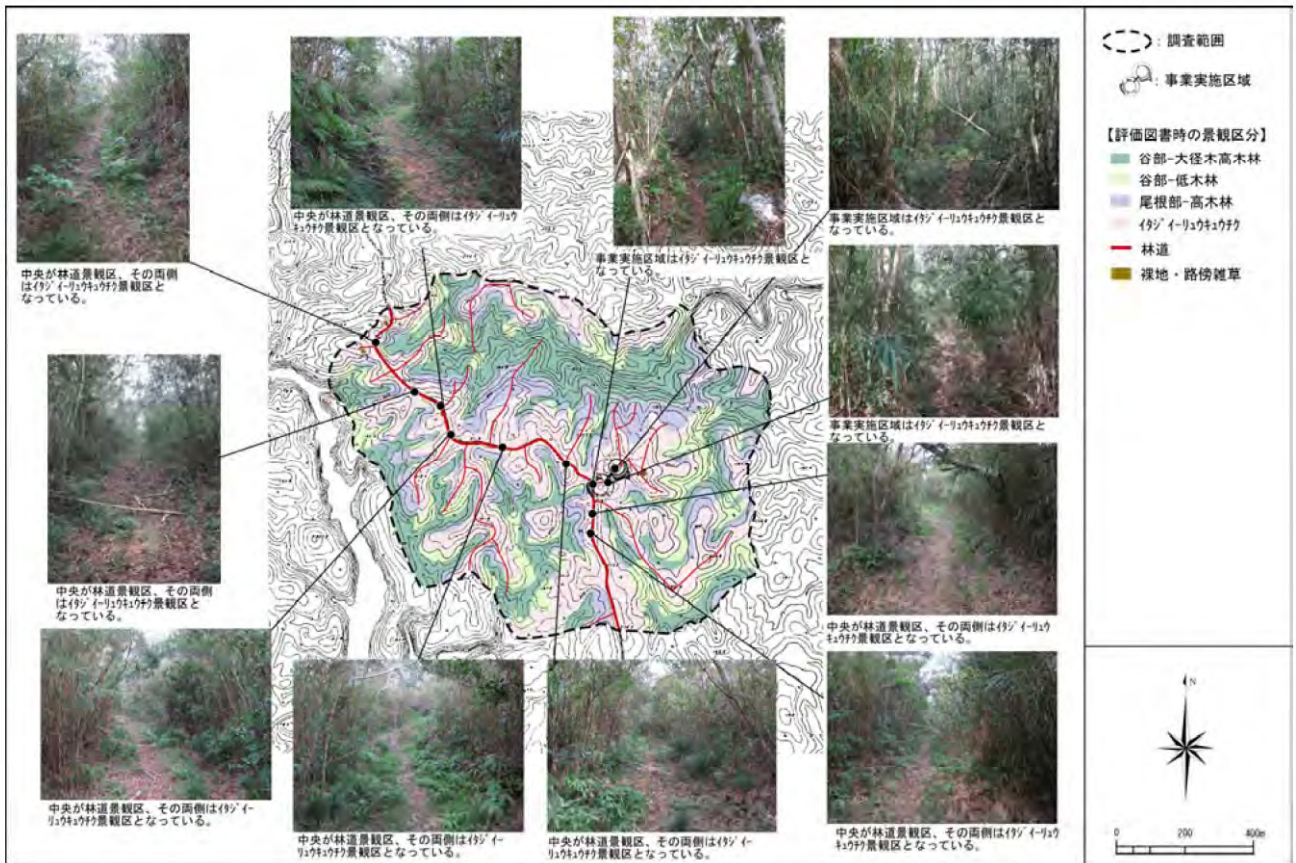


図 7.1.6-9 N-1 地区における眺めの状況（平成 28 年）



図 7.1.6-10 N-1 地区における眺めの状況（平成 29 年度：冬季）



図 7.1.6-11 N-1 地区における眺めの状況（平成 30 年度：冬季）



図 7.1.6-12 N-1 地区における眺めの状況（令和元年度：冬季）